

# おおあらい

Vol.362



ビリッときた!?(大洗わくわく科学館 ありま博士の科学教室 静電気の実験)



第3回大洗の四季フォトコンテスト  
～街並み・まつり・自然～



# 第3回 大洗の四季 フォトコンテスト

大洗の町並み・まつり・自然をテーマにした写真作品を公募した第3回大洗の四季フォトコンテストの審査会が1月16日(水)に開催されました。

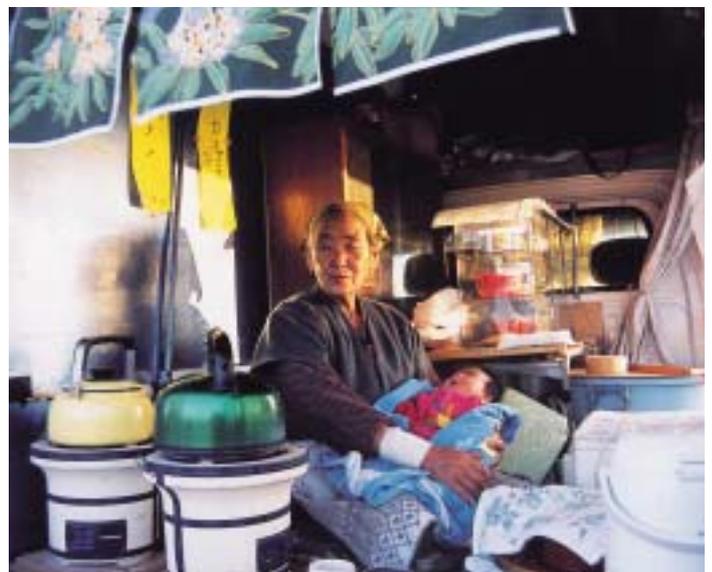
295点の応募があり、一次・二次審査を経てグランプリ2点(フィルムカメラ部門、デジタルカメラ部門各1点)、優秀賞3点、黛まどか賞3点、入選17点、佳作15点が選ばれました。



黛 まどか賞  
「エキサイト！」相川 由春さん(ひたちなか市)



黛 まどか賞  
「船出」大畠 和良さん(常北町)



黛 まどか賞  
「まなざし」鈴木 宏幸さん(ひたちなか市)



◀ グランプリ  
「荒磯の漁」 大畠 和良さん（常北町）



▶ 優秀賞  
「港残照」 高田 英夫さん（水戸市）



優秀賞  
「荒海」小松崎 弘さん（大洗町）

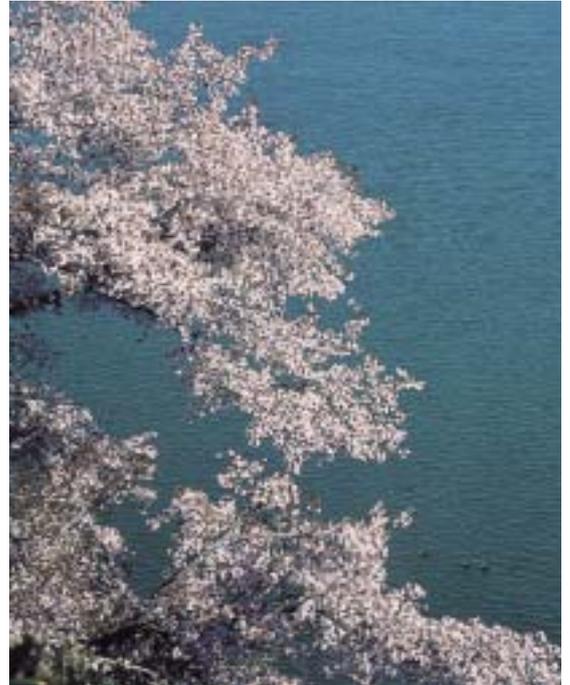


▶ 優秀賞  
「五月晴の日」 小林 豊帆さん（水戸市）

第3回  
**大洗の四季**  
 フォトコンテスト



入 選  
 「祭りのひとつとき」川村 昇司さん（水戸市）

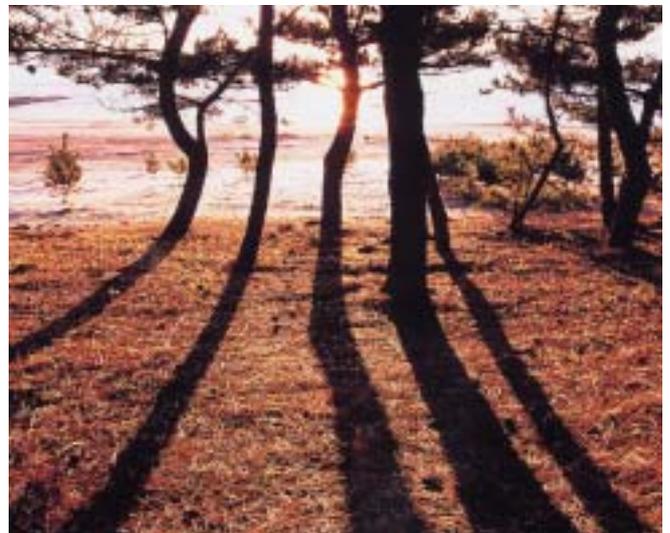
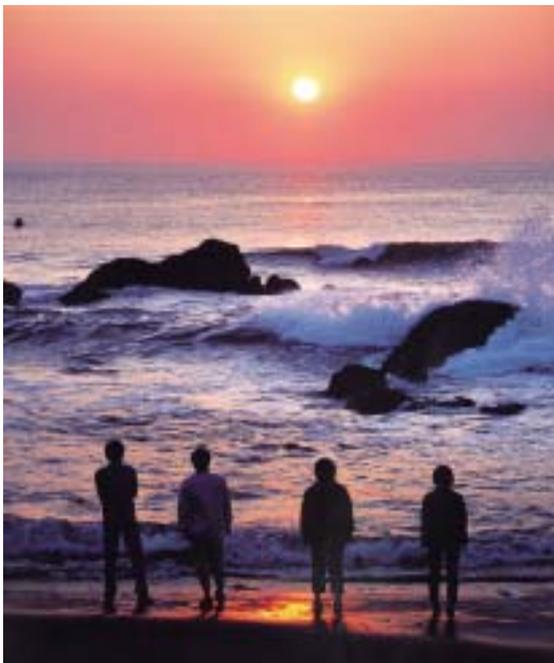


入 選  
 「川岸の山桜」神主 雅央さん（大洗町）



入 選  
 「魚の町大洗」桑嶋 宣昭さん（大洗町）

▶入 選  
 「朝日に願いを込めて」金沢 清治さん（大洗町）



入 選  
 「冬の保安林」大森 卓さん（水戸市）

街並み・まつり・自然



入 選  
「元気な掛声」高山 三雄さん（水戸市）

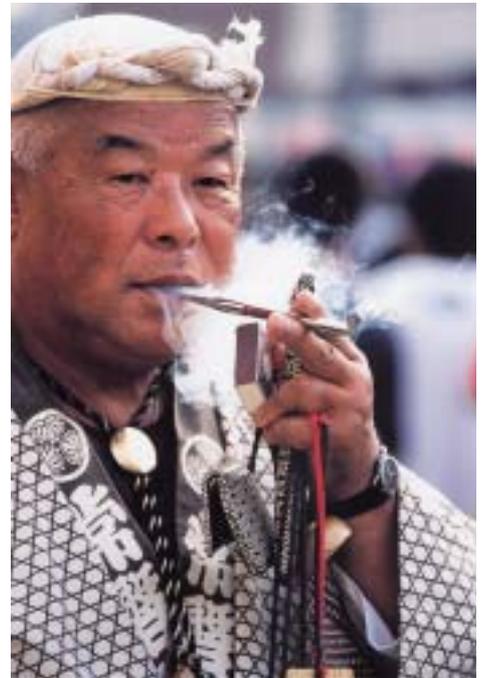


入 選  
「筑波山頂上え落日」関根 竹次郎さん（大洗町）



入 選  
「かもめ」関根 源さん（大洗町）

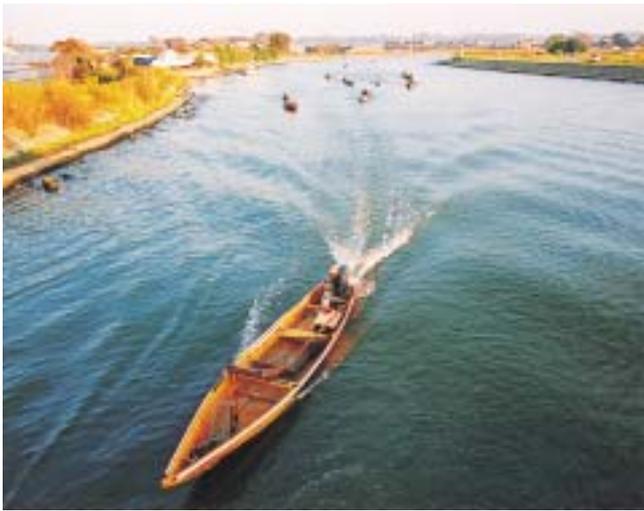
▶ 入 選  
「祭りの長老」平沼 好男さん（大洗町）



▶ 入 選  
「磯節」笹沼 洋一郎さん（水戸市）



第3回  
大洗の四季  
フォトコンテスト



入 選  
「しじみの解禁日の朝」吉村 広さん（大洗町）



入 選  
「朝のひとつとき」加部東 肇さん（大洗町）

▶ 入 選  
「暮れる」関根 範子さん（大洗町）



入 選  
「光」関 安雄さん（大洗町）

入 選  
「しあわせな瞬間<sup>とき</sup>」内藤 彰博さん（大洗町）



◀グランプリ

「朝の市場」平沼 好男さん（大洗町）



入選

「雨あがり」関根 慎治さん（大洗町）



入選

「野焼き」金沢 清治さん（大洗町）

## 第3回大洗の四季 フォトコンテスト 講評

写真家 丹地敏明

「大洗の四季フォトコンテスト」も第3回を迎え、町内外から295点の応募がありました。一昨年、昨年と回を重ねることに大洗を見つめ直して写真を作られようとされている努力の跡が感じられました。興味の数だけテーマがあると云われますが、身近にある大洗町のさまざまな事物に、一層の興味を持っていただき、過去にない発見で写真を作っていくことが、これからの写真表現としての価値観がでるのではないのでしょうか。

今回のグランプリ・大畠和良さんの「荒磯の漁」は、冬の朝の厳しい寒さの中、光と水蒸気の色彩で「はんぎり」と呼ばれる船をあやつり海藻を採る漁をする老人らしき人のシルエットが印象的に浮かび上がり、大洗の冬の風物詩を見事に詠い上げていたと思います。しかしこの漁も次第に消えていく運命にあるような一抹の寂しさを感じる素晴らしい写真だと思いました。

今回の応募作品の印象は、全体におとなしくインパクトに欠ける作品が多かったように感じました。したがって、正直なところグランプリの作品を選挙するまでに時間がかかりました。

総評の終わりに、これからも、大洗の日常を写真を通して見つめ、丹念に記録し自分なりの見方の写真を多数応募されることを期待すると同時に、この「大洗の四季フォトコンテスト」がフィルムカメラ部門・デジタルカメラ部門ともに益々盛んになることを願っています。

### 審査委員

委員長 丹地 敏明（写真家）

審査員 黛 まどか（俳人）

審査員 井上伸二良（茨城新聞社編集局写真部長）

審査員 石井藤一郎（大洗町観光協会会長）

審査員 小谷 隆亮（大洗町長）

## 新年賀詞交歓会 叙勲祝賀会を開催



1月20日に平成14年の新春を祝う賀詞交歓会と平成13年の叙勲を受けた佐藤忠一さん（勲五等瑞宝章）、川島節子さん（勲六等瑞宝章）、小野瀬省二さん（勲六等瑞宝章）の受章祝賀会が大洗シーサイドホテルで開催されました。

会場には歴代の叙勲受章者や田山県議、町議会議員、町内の各種団体、企業、事業団の方々など約170名が集まり、発起人を代表して小谷町長が「厳しい経済環境が続いておりますが、本年3月には新水族館がオープンし多くの方々が町に訪れます。このにぎわいを活かしていけるようさまざまな取り組みを展開していきたい」とあいさつ。続いて渡辺町議会議長のあいさつ、田山県議の祝辞、叙勲受章者からの謝辞の後、乾杯が行なわれ、出席された皆さんは、叙勲の喜びと新年の抱負などなごやかに歓談しました。



小野瀬省二さん  
（勲六等瑞宝章）

地域住民の生命財産を守る消防団活動に44年にわたりに従事され、防災意識の啓蒙や行動力のある団員の育成指導に尽力されました。こうしたご功績が高く評価され平成13年秋に勲六等瑞宝章の榮譽に浴されました。



川島 節子さん  
（勲六等瑞宝章）

保育士として27年にわたり、日本赤十字社茨城県支部乳児院において乳幼児の養育に専念され、児童福祉の向上に尽力されています。こうしたご功績が高く評価され平成13年春に勲六等瑞宝章の榮譽に浴されました。



佐藤 忠一さん  
（勲五等瑞宝章）

38年にわたり、更生保護事業に従事され、保護観察などに携わり数多くの対象者の社会復帰に貢献し、犯罪予防活動や青少年の健全育成などに尽力されています。こうしたご功績が高く評価され、平成13年秋に勲五等瑞宝章の榮譽に浴されました。

# 防災

## 消防署に災害対応 特殊救急自動車を配備しました

平成13年度救急業務高度資機材緊急整備事業として、消防署に高規格救急自動車（配備され、1月4日役場前において完工披露が行なわれました。この車両は総務省消防庁仕様の指定を受けた最新鋭の災害対応型高規格救急自動車（GPS（位置を特定

するシステム）やさまざまな高度救急救命の器材を搭載しており、救急隊が現場から24時間いつでも救急専門の医師等と連絡を取り合いながら迅速に救急救命処置を行ないます。

### 随想

#### 異業種間交流の輪をひろげ まちに活力を

大洗町長 小谷隆亮

新年を祝う賀詞交歓会・叙勲祝賀会に多数の方々のご出席をいただき、町内の様々な業種に携わる皆さんと情報の交換ができました。現在の厳しい経済環境下、聞こえてくる話題はとかく沈みがちですが、我が町には3月21日にオープンする新水族館など明るい話題もあります。

国内外の地域間競争の激化、消費者要求の個性化や多様化などが進行していく中、「変革」、「連携」、「情報の有効活用」があらゆる産業において求められています。我が町の諸産業においても競い争う「競争」から共に創る「共創」へと産業の革新がなされていくのです。企業間や異業種間の連携がなくては商店街や産業の活性化、新しい産業の創出は困難な時代です。町ではすでに地域経済活性化に向けて各方面からご意見、ご参加をいただき異業種間交流を活発化するための取り組みを行なっております。

「大洗に遊びにきたお客さんがおみやげを買うのに町外に行ってしまう」「特産品を尋ねられてとっさに出てこない」などの声を耳にします。今こそ地域内の連携を強めて業種間、産業間を超えて連携する体制づくりや特産品づくり、ITを活用した情報発信などを強化し、原料、加工、流通、販売を有機的につなぐ仕組みづくりを進め、朝市や宅配といった産地直販体制の促進、総合おみやげセンター的な施設の整備などを図り、「学び」や「体験」にあわせ、食べ、遊び訪れた方々が満足いただけるよう町ぐるみで取り組み、地元でつくり出したものを地元で消費する地産地消の実行に向けて異業種間交流の輪を広めていこうではありませんか。

最新鋭の機器が並ぶ救急自動車内部



阪神・淡路大震災のような国内で発生した大規模災害に対して大洗町消防本部は、緊急消防援助隊の救急医療部隊として北海道から本州全域にわたり災害出動します。